

一般社団法人福岡県学校歯科医会 News Letter

FUKUOKA ASSOCIATION OF SCHOOL DENTISTS

Vol.5

2018年10月31日発行

CONTENTS

平成30年度加盟団体長会	1
特集 保健指導 ～宗像歯科医師会の巡回ブラッシング指導～	2～3
広報委員会紹介	4
第23回福岡県学校歯科保健研究大会のご案内	5
図画・ポスター・標語審査会	6
私の本棚	6
平成30年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会開催	7
事業報告	8
編集後記	8

平成30年度加盟団体長会

平成30年9月15日（土）午後5時、福岡県歯科医師会館5階中ホールにて加盟団体長会が開催された。会長挨拶につづき、座長の選出が行われ、遠賀中間歯科医師会会長の原野先生が選出された。原野座長の進行のもと執行部より11項目の報告事項、及び5項目の協議事項が話し合われた。

報告事項では、平成29年度より実施している加盟団体時局講演会について、開催された遠賀中間及び宗像の加盟団体長から、多くの会員が参加し、学校歯科への理解が深まったとの報告がされた。

協議事項については、フッ化物応用について県学歯としての取り組みについて説明がされ、モデル校がある地区の加盟団体長より実施状況の報告がされた。

各加盟団体との意見交換や情報の共有が出来、より強い信頼関係を築くことが出来た。



宗像歯科医師会 問世田会長



杉原会長



一般社団法人宗像歯科医師会では毎年、歯と口の健康週間のある6月に巡回ブラッシング指導を行っています。小学校（低学年）、幼稚園、保育園を対象に各学校・園に出向き、歯と口の健康やブラッシングの指導を行います。これは昭和55年より宗像歯科医師会公衆衛生委員会（当時）主催で、（株）ライオンの協賛のもとに行われた歯みがき訓練が始まりで、ライオンの巡回バスによる歯科衛生士のブラッシング指導が行われました。その後、公衆衛生委員会から宗像学校歯科医会へと主催が引き継がれ、平成11年発行の“福岡県学校歯科医会七十年史”においても、「ライオン衛生研究所の歯科衛生士の協力の下、2週間の期間で毎年50校（園）程度の希望があった」との記載があります。後にライオンが撤退した後も事業は継続され、平成25年に宗像学校歯科医会が宗像歯科医師会に編入されて以降は、宗像歯科医師会に新設された学校歯科委員会が事業を継承しました。

現在は診療を休むことが難しい学校歯科医の代わりに、フリーランスの歯科衛生士に委託して事業を行っています。指導期間は1年のうち、6月のみの1ヵ月間という特殊性から、診療所に常勤の歯科衛生士では執務が難しいため、育児などで休職中のフリーの歯科衛生士に白羽の矢が立っ

ている次第です。

今年度は宗像歯科医師会が管轄する宗像市・福津市両市にわたり、小学校19校（計1,462名）、幼稚園・保育園24園（計2,737名）に対し、ブラッシング指導を行いました。それらを平日午前中の17日間に分け、総員5名の歯科衛生士が各々1人で1日1～2校（園）を、1回45分の指導を行いました。そのうち2校は大島、地島という宗像市にある離島の小学校で児童総数が少ないため、例外的に全学年を対象にブラッシング指導と歯垢



の染め出しも行っています。しかし、低学年と高学年とでは指導内容に差異があるため、この時ばかりは歯科衛生士2名体制で、それぞれ低学年と高学年とにわかれて指導を行います。ブラッシング指導を行う歯科衛生士には指導手当・交通費等の経費はもちろんのこと、離島担当者には島に渡る船の便数の関係からほぼ1日仕事になるため、離島手当もつけています。また、そのほかの学校や園は歯科衛生士が各自、自家用車を運転してまわるため、万一の事故に備えてブラッシング指導期間中は国内旅行傷害保険にも加入しています。

指導の内容は、小学校では①歯の役割 ②むし歯はどうしてできるか ③食べ物の話 ④6歳臼歯の話 ⑤歯のみがき方 ⑥歯ブラシの話。幼稚

園・保育園では①むし歯の話（ミュータンス菌）

②食べ物の話 ③歯みがき練習 ④うがいの練習。などを指導用歯ブラシと顎模型、音楽等を効果的に用いながら行っていきます。毎年、ブラッシング指導期間前には担当の歯科衛生士たちが皆で集まっては打ち合わせをしたり、夜遅くまで絵本などを利用した媒体を作成したりと準備に余念がありません。ちなみに近年、使用した絵本は「はみがきっしゃ しゅっぱつしんこう!」、「はみがきさん」、「はははのはなし」などです。



ただし、課題もあります。まずは指導を行う歯科衛生士の確保の問題。フリーの歯科衛生士の数にも限りはあり、現在従事している人でも、例えば子育てが一段落して再就職すれば、次年度以降は指導に参加するのが困難です。次はブラッシング指導を受け入れる児童、学校・園側の問題。指導中の児童の落ちつきのなさや騒がしさ、ブラッシング指導の日程調整の煩雑さに加え、学校・園側からの規格外の要望もあります。原則、ブラッシング指導は毎年1校につき1回限りの指導でしたが、学校の規模によりブラッシング指導をうける児童数が異なるため、かねてより指導の回数を増やしてほしいという要望が増えてきたため、今年から、大規模校では2回に分けてブラッシング指導を行いました。また、指導用のマイクを用意



して貰えなかったり、園長の方針で歯ブラシを持って来させず、仕方なく指ブラシで対応しているところなどさまざまな学校や園もあります。

われわれ学校歯科医にとっては自身の診療に支障をきたさないため、とても有難い事業なのですが、最前線に立つ歯科衛生士は何かと苦勞が絶えません。そのため、毎年事業終了後には、従事した歯科衛生士達の慰勞も兼ねて、宗像歯科医師会学校歯科委員会メンバーと反省会を開き、次年度に向けての要望や改善点を話し合っています。宗像ではこの事業は行政が関与していないため、行政からの補助金もなく、歯科医師会が単独で行っている事業です。事業予算は毎年19万円程度で主に人件費です。学校歯科医が直接、保健指導に関わっていないことで賛否が分かれるかもしれませんが、歯科衛生士と一緒にブラッシング指導に参加したり、後日、校医をしている各学校・園に自ら出向いて更なる保健指導を行うなど、学校歯科医次第でいろいろなやり方があると思います。以上、一般社団法人宗像歯科医師会のケースを紹介いたしました。皆様方のご参考の一助になれば幸いです。

広報委員会 紹介



副会長
三箇 正人



理事
白木 博繁



委員長
安田 誠



副委員長
江口 明宏



委員
入江 祐彰



委員
加塩 大輔

第30期広報委員会は、三箇正人副会長の下、6名で構成され、土曜の午後に開催、小委員会を含めると年間12回ほど行っています。日頃からメーリングリストを利用して編集作業に取り組み、連絡を取り合うようにしています。

広報委員会では、福岡県学校歯科医会における様々な活動や有益な情報を収集発信することにより、学校保健活動に取り組んでいる学校歯科医、学校関係者の方々に少しでもお役に立てる様に活動しています。これにより、学校歯科医会との信頼・協力関係がより強いものになる事を願っています。

平成28年度まで年2回の会報発行でありましたが、情報を早く伝える為、新たにNews Letterという形で4月、7月、10月の3回発行し、従来の会報を1月に発行しています。

また、歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールならびに歯・口の健康啓発標語コンクールでの受賞者の作品を新聞大のポスターとして作成し、学校へ配布しています。



ホームページ作成では、学校歯科医、学校関係者に留まらず、県民に向けての各種情報のタイムリーな提供と、法人としての福岡県学校歯科医会の情報公開にもなっています。

他にも対外的広報活動として ①県学歯事業に関すること ②加盟団体、各種大会に関すること ③関係諸団体、各種大会に関することを実施しています。来る周年事業の為の資料収集や整理も行っています。今後ともご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。
広報委員会委員長 安田 誠

大塚政公先生を偲んで



大塚 政公 先生 略歴

昭和27年生まれ
昭和53年 九州歯科大学卒業
昭和55年より現福津市の福岡病院歯科に勤務
平成11年4月～17年3月 福岡県学校歯科医会
広報委員会委員長
平成29年3月 福岡病院退職
平成30年10月7日 逝去

10月7日にお亡くなりになられた大塚政公先生は、本会においても広報委員会委員長、理事として活躍され、地域の学校歯科保健の向上に貢献されました。

趣味のアルトサックスはNHK九州アマチュアビッグバンドコンテストで最優秀個人賞を受賞するほどの腕前でした。

ここに生前の大塚先生を偲んで、会報誌のために書いていただいた歯鏡を再掲し、心よりご冥福をお祈りいたします。

歯鏡

ベストセラー「バカの壁」でお馴染みの解剖学者、養老孟司氏によると、われわれ人間の脳の情報は筋肉を通してしか外に出力できず、そのようにして出力したものは必ず何らかの反応を起こし、筋肉を通じた入力してくるという。

そうした出力、入力を繰り返す経験の中で脳内での情報循環回路とでも言うべきシステムが発達し、これが思考であるという。そして「バカの壁」を打破するキーポイントは、ずばり“行動すること”であるそうだ。

行動と言えば、今から約20年前、人間の行動、特に集団行動の誘導に音楽の導入が有効であることをヒントに、幼稚園や保育園での音楽を使った歯みがきの集団応用法が、福岡の歯科医師のグループで開発された。当時の新聞（西日本新聞）には、「福岡市近郊の若手歯科医師、歯みがきソング『ごしごしデンターマン』を制作し…」とある。やや長髪で脇にギターを抱え、音楽テープを手にする若者の写真も掲載されているが、何を隠そう！その写真の若者こそ作曲、アルトサックスでの演奏も担当した若かりし日の私である。あれから20年！自慢の長髪もすっかり抜け落ち、今や見る影もない。しかし、このテープは、時代の流れにより、この度CDとしてリニューアルされ更に使いやすくなった。まだご存知ない方は、一度聴いてみてはいかがだろうか！

そして私とは言えば、相変わらず飽きもせず、診療のかたわら音楽活動が続けているが、果たして『サックスを吹く』という筋肉を使った行動により、「バカの壁」を打破できているのであろうか？

(広報委員長 大塚 政公)

第23回 福岡県学校歯科保健 研究大会のご案内

学術委員会委員長
岡村 博久

第23回 福岡県学校歯科保健研究大会



と き 平成30年11月17日(土) 受付 12:30より
13:00~17:00
ところ 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール
(福岡市中央区大名1丁目12-43 TEL092-714-4627)

一般社団法人 福岡県学校歯科医会

と き 平成30年11月17日(土)
受付 12:30より
13:00~17:00

ところ 福岡県歯科医師会館
5階 大ホール

(福岡市中央区
大名1丁目12-43
TEL 092-714-4627)

第23回 福岡県学校歯科保健研究大会が、平成30年11月17日(土) 13:00~17:00、福岡県歯科医師会館 5F大ホールにて開催されます。

今年度は「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」～自らの健康行動につながる効果的な歯科保健活動～をテーマに開催されます。

健康管理としての歯科健康診断は、学校歯科保健の要であり、担当する学校の児童・生徒の健康状態を正しく知る必要があります。また、その結果の評価分析、対策を講じることは歯・口や全身の健康づくりにきわめて重要な事項と考えられます。

そこで、福岡県学校歯科医会 専務理事 平瀬久義先生による基調講演、また九州大学 大学院歯学研究院口腔予防医学分野 教授 山下喜久先生による特別講演を予定しております。

また、栄養教諭、養護教諭、生徒保健委員会の生徒さんによる実践活動報告も予定しております。

展示コーナーでは、お飲み物も準備させていただいております。歯科関係者、学校関係者の皆様、お気軽にご参加ください。



図画・ポスター・標語審査会

平成30年9月8日（土）福岡県歯科医師会館において図画・ポスター・標語審査会が開かれました。審査員に福岡教育センター産業・情報教育部情報教育班主任指導主事 合田賢治先生をお招きし、杉原会長、三箇副会長、須ノ内副会長、平瀬専務理事の立ち合いの下行われました。

審査作品は、まず県下の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の中から応募のあった作品を各郡市区の委員の先生に協力して頂き厳選な評価、審査の下に、まず63点にまで選択しました。

その選りすぐりの力作63点を幼稚園、小学校低学年、高学年、中学校、高等学校、特別支援学校の部門ごとに会長賞、教育委員会賞、優秀賞、優良賞、佳作、入賞に決定しました。

歯・口の健康啓発標語に関しても同様に加盟団体より応募があった作品を各郡市区の委員の先生方の協力を得て13点まで選択しました。そして、会長以下13名の理事の先生方の審査により会長賞、優秀賞、優良賞、入賞と決定しました。

また、図画・ポスター・標語の会長賞、教育委員会賞の作品は11月17日（土）開催の第23回福岡県学校歯科保健研究大会で表彰されます。

なお、今回の図画・ポスター・標語の会長賞、教育委員会賞、優秀賞、優良賞、佳作の詳細は県学歯会報、ホームページに記載予定です。

最後に合田先生より、「歯・口の健康づくりにより実現するみんなが健康で明るい社会をイメージできるような作品が多く見られました」とのコメントを頂きました。合田先生にはいつも歯・口の健康に関する図画・ポスター審査に協力していただき、ありがとうございます。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。



合田 賢治氏 プロフィール

団体名：福岡県教育センター
産業・情報教育部情報教育班
役職名：主任指導主事
略 歴：2017年～現在
福岡県教育センター産業・情報教育部
情報教育班主任指導主事
2016年～2017年
飯塚市立 潤野小学校 教頭
2014年～2016年
飯塚市教育委員会
学校教育課 指導係 指導主事
2011年～2014年
福岡教育大学附属福岡小学校
図画工作科部 教諭



保育園での保護者への講話の際、食育についての質問が最近増えてきたと感じている。「好き嫌いが激しい」、「食べるのが遅い」、「一生懸命作ったのに食べてくれない」等々、食に関する悩みの質問が多くよせられる。保護者の方々は、子供の体や心の健やかな成長を願ってよく勉強されている。しかしながら、情報があまりにも多く、少々混乱されているケースも見受けられる。

今回紹介する本は、PHPから出版されている「のびのび子育て」という雑誌の増刊号『心と体の土台を作る！子どもの「食生活」でやってはいけない55』という本です。この本では、パート1心と体を育むごはんのためにやってはいけない20、パート2食事の困った悩みにやってはいけない25、パート3よい食習慣を作るためにやってはいけない10という構成で、様々な悩みに対応している。

また、最後にとくべつ読み物として、『がんばりすぎないで おいしいひと皿は「暮らしのすき間」が作る』というエッセイが掲載されている。この作者が言っている様に、「ほどほど」が笑顔あふれる食卓につながり、子供達への食育には有用であると感じた。



平成30年8月25日午後2時より、鹿児島県歯科医師会館において、日本学校歯科医会から平塚副会長、柘植副会長を迎え、九州地区学校歯科医会役員連絡協議会が鹿児島県歯科医師会の主催で開催された。本協議会は、日本学校歯科医会、九州各地区学校歯科保健担当役員、鹿児島県歯科医師会学校歯科担当役員・委員が出席し、本会からは杉原会長、平瀬が出席した。

開会セレモニー後、開催県の座長進行で、平塚副会長の挨拶、柘植副会長の日学歯の事業報告があった。

要旨として

- (1) う蝕多発傾向者
- (2) 小児口腔機能発達不全症について
- (3) 高校野球について、高野連と連携をとりマウスガードの普及に取り組んでいる
- (4) 生涯研修制度における基礎研修、更新研修、専門研修の説明および学校歯科医会としてどう対処し進めていくか

協議として

- (1) 平成30年度九州各地区学校歯科関係事業計画について
学校歯科保健事業について各地区会員増強に力を入れているが、活動がマンネリ化しない工夫が必要
- (2) 各地区提出協議題について
 1. 健康診断時の感染症対策について
ダブルミラーについては、滅菌の手間や予算の関係でなかなか普及していない
 2. 会員増強対策
学校歯科医に委嘱された際には、入会して頂くため、広報に力をいれる
 3. 健康診断時の対応（帯同記録者など）
 4. 更新研修について
 5. フッ化物洗口に対する対応
- (3) 日本学校歯科医会への質問及び展望事項について
健康診断時の判定基準（特にCO要相談）について、更新研修の今後の展開等の質問、ホームページの改善要望など各地区から意見がだされ、日学歯からは、内容が難しいという意見もあるが、もう少し理解しやすい内容にできないか検討してみるという回答をいただいた。

本協議会を通して、他地区の取り組みや考えを教示いただき、福岡県学校歯科医会の今後の取り組みに大変参考となった。参加者全員、多様な意見交換の中から、学校歯科保健について更なる理解を深めた。

次回開催県大分県の挨拶、閉会の辞で3時間の協議会を終了した。



物 故 会 員

自 平成30年8月1日 至 平成30年10月31日

ご冥福をお祈り致します

大 塚 政 公 66才 (宗 像)

予 告

歯・口の外傷及びマウスガード講習会

日時 平成31年1月19日(土)
15:00~17:00

場所 福岡県歯科医師会館
4階 研修室(404教室)

事業報告

平成30年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会

日 時 平成30年8月25日(土) 14:00~
場 所 鹿児島県歯科医師会館
出 席 者 杉原会長・平瀬専務理事

平成30年度全国学校保健・安全研究大会

日 時 平成30年10月25日(木) 26日(金)
13:00~
場 所 鹿児島市民文化ホール
出 席 者 杉原会長・平瀬専務理事・永江監事
主 題 生涯を通じて、心豊かにたくましく
生きる力を育む健康教育の推進
～自ら健康で安全な活力ある生活を
送ることができる子供の育成～

第68回全国学校歯科医協議会

日 時 平成30年10月25日(木) 16:00~20:30
場 所 城山ホテル鹿児島
出 席 者 杉原会長・平瀬専務理事・永江監事
講 演 「こんなところにも目を向けよう！
スクリーニングとして重要な学校歯科
健康診断」
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
小児歯科学分野 教授 山崎 要一

編集後記

6月25日付の毎日新聞に掲載されていた記事によると、学校の歯科健診で「要治療」と診断された児童の過半数がその後、歯科医院を受診していないというデータがあるそうです。しかも、小・中・高と上の学校に上がるほど、パーセンテージは高くなるようです。これを知って先生方はどう思われますでしょうか。診療時間を割いてまで健診に行ったのに空しさを覚えるか、まだまだ潜在的需要はあると思うか、どおりでうちには小児の患者が来ないのかと納得するか。同じく、未受診の要因と関連が深いと思われるものを学校に尋ねた調査では、経済的な事情や家庭環境を抑えて、過半数を超えた第1位は「保護者の子供の健康への理解不足」でした。もし、これが事実であるならば、個人のレベルでも組織のレベルでも、われわれ学校歯科医に出来ることは、まだまだある気がします。目指すべき目標が一緒であるならば、たとえ意見や手段に違いはあったとしても、日本の未来を担う子供たちの口の健康を守るため、共に手を携えて歩みましょう。

広報委員会 入江 祐彰

News Letter

Vol.5

毎年3回発行

発行人 杉原 瑛治

発行所 〒810-0041
福岡市中央区大名1丁目12-43
福岡県学校歯科医会内
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp
U R L <http://www.fk-gakusi.jp>

印刷所 〒812-0065
福岡市東区二又瀬新町12-29
株式会社大里印刷センター
TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715